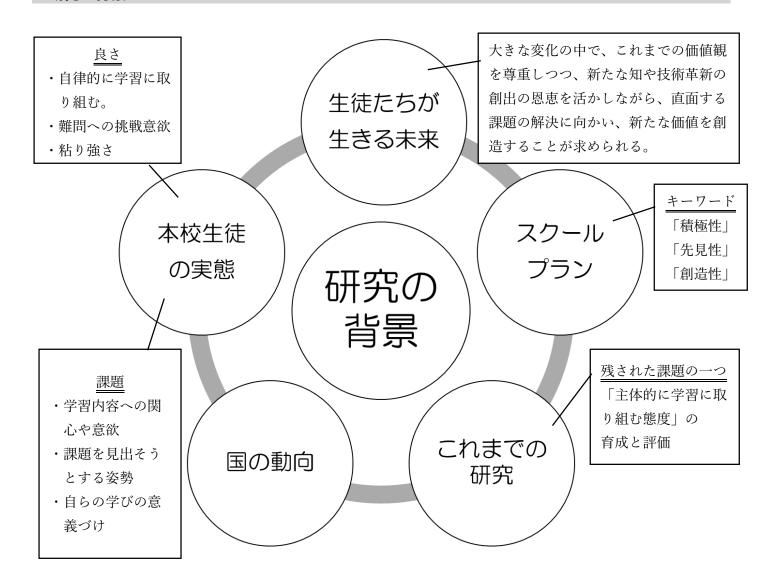
◆全体総論ダイジェスト版

≪研究主題≫

創造性に富んだ、未来を切り拓く生徒の育成

~「主体的な学び」のプロセスモデル実現を目指して~

≪研究の背景≫



創造性に富んだ、未来を切り拓く生徒

- ○創造性を育む。
- ・生徒の実態をもとに本校で考える「創造性」とは、「自ら課題を見出し、その解決に向かって、これまでに 学んだことや新たな知、技術革新を結び付けて、新たな価値を創造する資質・能力」である。
- ※「新たな知」とは、社会の中で生み出される知(物事に対する知識や認識、またそれが体系化されたもの) を指す。生徒が新たに学んだことも含む。
- ※「価値」とは、各自が見出した課題の解決することを指す。また、生徒にとってこれまでの学びが新たな価値をもつことも含む。
- ※学習指導要領総則(第1章第2の2の(2))で示された「現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力」として例示された「新たな価値を生み出す豊かな創造性」に関わるものである。
 - ○「創造性」の要素を資質・能力の3つの柱に沿って整理すると…

>	知識及び技能	課題の解決に必要となる知識や技能	
	思考力、判断力、表現力等	課題の解決に向かって考え、意味や価値を創造する力	
	学びに向かう力、人間性等	自ら課題を見出し、その解決に主体的に取り組もうとする態度	

≪成果≫

「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」が育まれてきた。

これまでの研究

- ・見方・考え方を働かせた学び
- ・資質・能力を育む指導と評価の工夫
- 教科等横断的な教育課程の工夫

「主体的に学習に取り組む態度」を実現するための実践が必要。

- →・主体的な学びの有り様と教師の関わりをより明確にすることが必要。
 - ・「粘り強さ」「自己調整」という側面に着目する。

≪課題≫

「学びに向かう力、人間性等」の育成が不 十分である。

→学校での学びにおいては、「主体的に学習に取り組む態度」として現れる。

1年次の研究

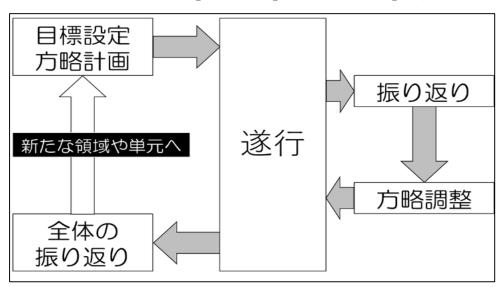
本校の考える「主体的な学び」 = エンゲージメントが高められた姿

= 生徒が粘り強く学習に取り組み、自己調整しながら学ぶ姿



プロセスモデルの設定

○すべての単元で「振り返り」「方略調整」「全体の振り返り」を組み込む。



	エンゲージメントの高まり(生徒の姿)
	・高いレベルの関心をもつ課題や日常生活で直面する課題、現実世界で解決すべき課題、
目標設定	自らのキャリア形成に関連する課題を選択する。
	・挑戦の感覚、知的好奇心、学習への期待感をもつ。
方略計画	・ゴールを設定し、過去の学習経験を活かしながら、課題解決のための学習方略を考える。
	・計画に基づいて、学習を遂行する。
遂行	・計画した方略や必要に応じて調整した方略に基づいて、個人やグループでの学習活動に
	熱心に参加する。
振り返り	・自らの学びの効果を振り返る。また、学習の進み具合を把握し、見通しをもつ。
方略調整	・必要に応じて学習方略を修正する。
全体の	・自らの学びの質や成果を振り返る。
振り返り	・学ぶ面白さや楽しさを感じたり、有能感や充実感をもったりする。

「主体的に学習に取り組む態度」の評価

- ○評価の観点、評価規準を「主体的な学び」のプロセスモデルに基づいて設定した。
- ○振り返りのワークシート等を工夫し、生徒の学びを可視化することを試みた。(評価材として活用)

≪2年次≫

○1年次の成果と課題を踏まえ、2つの方向性で研究を進める。

「主体的な学び」の具体像の深化

○1年次の成果として示された「主体的な学び」の具体像をもとに、教科の本質や育みたい資質・能力を踏まえて、深まった「学び」の姿をより明確に想定する。

●「主体的な学び」の具体像

	エンゲージメントの高まり(実践の中から見えてきた生徒の姿)				
	粘り強く学ぶ	自己調整しながら学ぶ			
	・単元の学習内容を、他教科の学習や自らの	・単元の目標に沿った、自分なりの学習目標			
	キャリア、生活、自らが生きる社会と関連	を立てている。(発達段階によりレベルは			
目標設定	づけて学習に取り組もうとしている。	違う)			
	・単元の学習内容に興味や価値を見出して取				
	り組もうとしている。				
方略計画	・自らの学習目標の達成を目指して、より	・過去の学習経験を活かしながら、目標達			
// 哈司 四 	よい学習方略を考えようとしている。	成のための学習方略を考えている。			
	・自らの学習目標の達成を目指して、粘り	・計画した方略や必要に応じて調整した方			
遂行	強く学習に取り組んでいる。	略に基づいて、個人やグループでの学習			
		活動に熱心に参加している。			
振り返り	・自らの学習方略の成果と課題をより的確	・自らの学習方略をモニタリングし、その			
版 9 延 9	にとらえようとしている。	成果や課題を挙げている。			
	・自らの学習目標の達成を目指して、より	・必要に応じて学習方略を修正している。			
方略調整	よい学習方略を求めて、必要な修正を続				
	けようとしている。				
	・単元の学習を通して、自らの目標達成の	・単元の学習を通して、自らの目標達成のた			
全体の振り返り	ために努力し続けたことを明確にしてい	めに工夫したことやその成果と課題を明			
土件の派り返り	る。	確にしている。また、それを次の学習に活			
		かそうとしている。			

「主体的な学び」の評価

- ○「主体的に学習に取り組む態度」の評価の枠組みに基づく評価規準、評価場面の設定
 - →① 教科や単元ごとに、「主体的な学び」のプロセスモデルのうち、重点的に取り組む学習過程を設定
 - ② ①に基づいて「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準と評価場面を設定
- ○振り返りワークシート等、生徒の学びを表出させる方法の工夫 ※ICT を活用する。
- ○「主体的に学習に取り組む態度」の観点別評価「C」の生徒への支援

●「主体的に学習に取り組む態度」の評価の枠組み

※「B」:「主体的な学び」の具体像で示された生徒の学びの姿

「A」: 学習の実現の程度について質的な高まりや深まりをもっていることが見取れる姿

	評価規準			
評価の観点	۸	В		Cの生徒をBに高める手立て
	A	粘り強く学ぶ	自己調整しながら学ぶ	
		・単元の学習内容を、他教	・単元の目標に沿った、自	・目標の立て方の例を示す。
		科の学習や自らのキャ	分なりの学習目標を立	・他の生徒が立てた目標を紹
		リア、生活、自らが生き	てている。	介する。
		る社会と関連づけて学		・単元間のつながりや他教科
目標設定	学習の	習に取り組もうとして		とのつながりを説明する。
		いる。		・学習内容を生徒の関心や生
		・単元の学習内容に興味		活と関連づけて説明する。
		や価値を見出して取り		・学習内容の実践的価値を示
	実現	組もうとしている。		す。
	の	・自らの学習目標の達成	・過去の学習経験を活か	・類似する内容を学んだ時の
方略計画	程度につ	を目指して、よりよい	しながら、目標達成の	学習方略を例として示す。
// 肾田 凹		学習方略を考えようと	ための学習方略を考え	
	いて	している。	ている。	
	質的	・自らの学習目標の達成	・計画した方略や必要に	・生徒の学習活動について、
		を目指して、粘り強く	応じて調整した方略に	個人や集団など様々な単位
遂行	な高まり	学習に取り組んでい	基づいて、個人やグル	で肯定的な声かけを行う。
	りゃ	る。	ープでの学習活動に熱	
	や深まり		心に参加している。	
		・自らの学習方略の成果	・自らの学習方略をモニ	・生徒の振り返りに対してフ
振り返り	をも	と課題をより的確にと	タリングし、その成果	ィードバックを行う。
	って	らえようとしている。	や課題を挙げている。	・他の生徒の振り返りや方略
	11	・自らの学習目標の達成	・必要に応じて学習方略	調整について紹介する。
	ることが	を目指して、よりよい	を修正している。	
方略調整	どが	学習方略を求めて、必		
	見 取	要な修正を続けようと		
	れ	している。		
	る 姿	・単元の学習を通して、自	・単元の学習を通して、自	・生徒の具体的な学習活動の
		らの目標達成のために	らの目標達成のために	様子を挙げるとともに、振
		努力し続けたことを明	工夫したことやその成	り返るための視点を具体的
全体の振り返り		確にしている。	果と課題を明確にして	に示す。
			いる。また、それを次の	
			学習に活かそうとして	
			いる。	